

県内初の木造GS

出光興産が太田に開業



木造のGSの誕生を祝ってテープカットする関係者

耐火CLT使用 CO₂削減効果も

石油元売り大手の出光興産(東京都千代田区、木藤俊一社長)は1日、国産のCLT(直交集成板)を使

った木造のガソリンスタンド(GS)「スマートエコステーション赤城新田」を太田市大原町に開業する。同社などによると、木造のGSは県内初。危険物を扱うため鉄骨造が一般的だが、耐火・耐震性に優れたCLTを使うなどして消防法の基準を満たした。新店舗は環境配慮型サービステーション(SS)「アプロステーションタイプ グリーン」。同型は2022年11月に高知県南国市の1号店が開業し、今回が国内5店目。石油製品など販売の赤城興産(みどり市大間々町、山同輝和社長)が運営する。県道桐生伊勢崎線の拡幅工事に伴い、同社の既存店をリニューアルする形で設けた。

CLTは繊維方向が直交するよう板を積み重ねて接着した大判パネルで、赤城新田店では事務所棟と給油場所の屋根に使用されている。木材活用によって数十トンの二酸化炭素(CO₂)の削減と固定化効果を見込む。太陽光パネルも設置し

ている。31日に行われた竣工式では、神事を執り行い、関係者がテープカットした。山同社長は「時代の先端を歩く木造SSにリニューアルしてもらった。地域一番店を目指していく」とあいさつした。

出光興産の上野昌信関東第二支店長は「出光興産が力を入れるカーボンニュートラル・循環型社会の実現への取り組みを発信する店舗になる。全国で同様のSSを増やしていく方針」と説明した。

(三神和晃)